

# 当社『遠場監督』が掲載されました

▼ 2020/10/26 日刊工業新聞 9 面



## 現場映像のぶれ抑制

### ザクティエンジ 遠隔支援カメラ

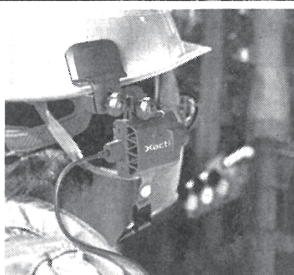
ザクティエンジニアリングサービス（大阪市北区、堂村龍明社長、06・7166・3910）は、業務用ウェアラブルカメラと「遠場監督」を発売した。

通信端末を組み合わせた建設現場向け遠隔支援ソリューション「遠場監督」を発売した。

離れた場所からでもリアルタイムで作業指示

ができる。

独自のソフトウェア技術でカメラの揺れを補正。作業員のヘルメットに装着したカメラ（写真）の映像のぶれを抑えられ、的確な指示が出せる。2021



年度末までに計1万社へ納入を目指す。

ソフト技術は自社開発の画像処理エンジンと、カメラワーク適応補正技術で構成する。

画像処理エンジンは4K相当の高画質で広い画角の大容量データをリアルタイムで処理。

適応補正技術は分析計の数値といった細かい文字も認識できる。電子シンバルを搭載し回転方向360度、上下90度、左右30度のぶれ補正が可能だ。

建設現場は足場が不安定な場所で作業したり、横風や揺れが強い環境で作業したりするため、カメラ画像がぶれやすく、遠隔操作では適切な指示が出しにくい。建設現場の人手不足対策のほか、遠隔地から複数の現場へ指示が出せるソリューションとして売り込む。